



# 一般質問

第4回定例会の主な質問内容は次のとおりです。  
なお質問の詳細は、熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

くまもと未来



重村 和征議員

質問 1

### 二岡中学校体育館の改修について

昭和44年建築の体育館は老朽化が著しく、先の震災でも大きな被害を被ったが、改築の計画はあるのか。

答 弁

二岡中学校体育館は、建物の調査を行い総合的に判断した結果、建替が必要と判断しており、武道場も設置する予定である。



質問 2

### 東部地域の公共交通機能の整備について

東部地域と健軍地区を結ぶ横軸型環状バス路線の開設は、既存の放射線道路の渋滞緩和に寄与すると考えるが。

答 弁

今後、東部方面のバス路線網再編を検討する際、地域特性を踏まえ、地域が利用しやすい公共交通ネットワークの構築を目指す。

共産党



那須 円議員

質問 1

### 被災者への医療費減免の復活について

受診抑制を防ぐ等、被災者の命と健康を守る医療費減免の打ち切りは許されない。減免制度の復活を。

答 弁

減免の実施は、保険料引上げや一般会計繰入金が増額が必要であるため困難だが、引き続き被災被保険者に寄り添って支援していく。



質問 2

### 国保料滞納者への機械的な差押さえについて

国保料滞納を理由に、年金の差押さえが実施されている。年金の機械的な差押さえは中止し、丁寧な納付相談を。

答 弁

年金については慎重に対応し、機械的な差押さえは実施していない。分割納付や個々の状況を踏まえ丁寧な納付相談を行っている。

自民党



小佐井 瑞宜議員

質問 1

### 本市の都市政策研究所について

中期的な成長戦略を描き有効な都市政策を講じるために、今後、シンクタンクが果たす役割と重要性を問う。

答 弁

本市の政策の方向性を科学的に解析し、基礎データの蓄積や整理をはじめ、研究成果を提供し、政策立案に繋げていくことが求められる。

質問 2

### 教員免許更新制の検証について

制度の有益性や課題の検証を問う。また免許未更新という事件を踏まえ教育委員会の果たすべき責任とは何か。

答 弁

教員免許更新制は教員が自信と誇りを持って教壇に立つために有益なもので、未更新が起きないように対象者のリスト化等に取り組む。



市民連合



福永 洋一議員

質問 1

### 区役所の役割とその権限・予算等について

地域要望の実現のためには、ハード面含めて各区に権限を与え、人口や面積等をベースとした予算配分が必要。

答 弁

区の権限や、人口・面積を含めた区の特性・違いを踏まえて、どのような予算措置のあり方がふさわしいか等について検討する。

質問 2

### 空き家対策について

国の法制化に伴って、市として空き家の実態調査や適正管理・利活用の方針等、どのように取り組むのか。

答 弁

地震による危険家屋の指導に加え、実態調査を実施し、空家等対策計画の策定に着手する等、住環境向上に向けた取り組みを進める。



公明党



井本 正広議員

質問 1

### 高齢者の住まい・生活支援について

要配慮者への住宅提供のあり方や支援の拡充等、対象者やオーナーへの実態調査を含め目指すべき姿の検討は。

答 弁

今後も居住支援協議会を支援するとともに、住生活基本計画見直しの中で住宅確保要配慮者への住宅支援策の充実等の検討を行う。

質問 2

### 急病の受検者に対する配慮について

これまでの市立高校入学者選抜における急病の受検生に対する対応と、今後の「別日程の追検査」の実施は。

答 弁

これまでは、県立高校と同様、別室での受検を実施している。今後は、他都市の取組状況等も参考に、県と連携して検討する。



善進会



田尻 善裕議員

質問 1

### 余震で大きくなった建物被害への本市対応は

建物の被害判定を受けた後、余震でヒビが大きくなったり傾きが出た場合、市の判定は変わらないのか。

答 弁

余震によって建物の被害が大きくなった場合も、内閣府の「災害に係る住家の被害認定基準運用指針」に基づき実施の判断を行う。

質問 2

### 学校で防災ヘルメット等配備が必要では

他の政令市で進む防災ヘルメットや防災ズキンの配備が地震を経験した本市も必要ではないか。

答 弁

来年4月の熊本市立学校防災月間にあわせ、各家庭で防災ズキンの作成に取り組んでいただくよう、各小学校に通知する。



市民連合



村上 博議員

質問 1

### 誰もがどこでも乗り降りできる電停を

フランス・グルノーブル市で、低床電車での自由な移動を満喫した。交通政策の観点から、電停改良の見解は。

答 弁

基幹公共交通である市電を、様々な方に安心してご利用いただくためにも電停改良は必要であり、優先度の高い電停から順次進める。



質問 2

### 学校現場の働き方改革について

学校に3日間密着したが、現場の多忙化・大変さを実感した。解消に向けた具体的な検討と改革の内容は。

答 弁

「学校改革！教員の時間創造プロジェクト」として、閉庁日の設定、時間外の電話対応等、現場の意見を聞きながら方策を検討する。



## 予算決算委員会の審査概要

全議員で構成する当委員会で、平成29年度補正予算及び関連議案について審査を行いました。

### 締めくくり質疑(平成29年12月7日)

#### 「平成29年度 熊本市一般会計補正予算」について

- 復興基金積立金の用途については、市民の意向を反映させることが重要であることから、今後、まちづくりセンター等の身近な施設において、意見箱を設置する等、市民の意見を広く聴取する仕組みを講じてもらいたい。
- 熊本城仮設見学通路設計業務委託については、利用見通しや、総事業費・撤去費用等について十分な検討がなされぬまま予算案の計上に

至ったことは拙速である。市民や議会へ十分な説明を行い、理解や納得を得ながら事業を進めるべきではないか。

- 被災者提供用市営住宅空家修繕経費並びに災害公営住宅整備事業について、仮設住宅入居者への住まいの再建に向けた意向調査を踏まえ、入居希望者のニーズに即した提供戸数の確保に努めるとともに、一般市営住宅入居希望者を含めた住宅提供については、適切な情報提供と丁寧な説明を求めたい。